

当院で「経カテーテル的 大動脈弁移植術」を始めました

心臓血管外科部長 齋藤 雄平

大動脈弁狭窄症という病気をご存じでしょうか？心臓の出口にある弁が固くなって動きが悪くなり、十分に開かなくなるため心臓から血液を送り出しにくくなってしまふ病気で、ACジャパンのコーナー「心臓の叫び」や上杉謙信と武田信玄による「検診の進言」でお馴染みとなった弁膜症のひとつです。この病気に対する治療法は最終的には手術しかなく、今までは大きく胸を開けて人工心肺を使用し、心臓の動きを止めて人工弁に交換するといった手術が一般的でした。しかし技術の進歩によって脚の動脈からカテーテルを挿入して、狭くなった弁を風船で拡張し、人工弁を移植する手術「経カテーテル的大動脈弁移植術」が行われるようになってきています。この方法であれば胸を開いて心臓の動きを止めることなく人工弁を移植することができ、体への負担を大きく減らすことが可能となる画期的な手術です。

山陰では鳥根、鳥取大学の二つの大学病院でしか受けることができなかったこの手術が、ようやくこの3月より当院でも実施できるようになりました。昨年の本誌でハイブリッド手術室の紹介をさせていただきましたが、この手術はハイブリッド手術室がなくては実施できないことになっており、マルチ報酬会の皆様よりご寄付いただきこの手術室を作ることができたおかげで当院でも実施できるようになりました。従来、この手術を希望なされた方は、出雲や米子、場合によっては中国山地を越えて山陽や関西、関東、九州といった遠方に行っていたのでいま

たが、当院での治療の選択肢に加えることができるようになり、少しでも皆様に貢献できることが増えたのではないかと思います。この経カテーテル的大動脈弁移植術は、カテーテル治療を得意とする循環器内科と心臓血管外科とが主となって行っている治療ですが、二つの科だけでできるような単純な治療ではなく、麻醉科、放射線技師、臨床工学技士、心工コーを行う検査技師、看護師といった多くの力がなくてはできない治療です。たくさんの方のスタッフが揃っている施設こそできる治療であり、当院の総力を結集してチーム一丸となって取り組んでいます。

一般的には、ご高齢であるとか、余病をお持ちであったりといった理由などで開胸して人工弁に交換する方法が難しい方がこの手術の対象となりますので、もし心当たりがありましたら専門医とよく相談をして検討していただきたいと思います。一度、期を同じくして4月より水曜日循環器内科の春木医師による心臓弁の故障（心臓弁膜症）専門の外来が開設されます。心臓弁膜症専門の外来は恐らく山陰では初の試みではないかと思えます。診察で心臓に雑音を指摘された、最近なんだか体がだるいといったことなどから偶然発見されるといったケースもあります。早期発見は、その後の生活に大きく影響を与えると思いますし、場合によっては手術の回避につながることもあるかと思えます。気になることがありの方はお気軽に受診していただいております。





Clinical Department

診療科紹介

脳神経内科

脳神経内科（神経内科）は主に脳と脊髄、神経や筋肉に関連する病気を扱っています。当院は3次救急病院のため、脳卒中をはじめとして、けいれん、意識障害、脳炎などの診断や治療を主に担当しています。外来では脳梗塞やてんかんのほか、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病、認知症の診断を行っています。開業医の先生から「よくわからない症状なんだけど」とご相談を受けて、当科での神経診察や検査でわかることがあります。よくある症状では頭痛やめまい、しびれなどの診断や治療も担当しています。脳卒中は救急の病気ですが神経難病などは年単位での病気であり、超急性期から超慢性期の病気まで神経の病気を幅広く担当しています。出血や事

故・ケガ、腫瘍など外科的な治療も必要とする病気については脳神経外科が、気分の変化や心の変調、精神的な問題やそれがもとで身体に異常を来す病気は精神神経科が担当します。

脳神経内科には現在4名の医師が在籍しています。脳卒中では24時間・365日の救急対応をしております。IPAによる血栓溶解療法も積極的に取り組んでいます。また脳神経外科の血管内治療専門医と協同して血管内治療による血栓回収療法も行っており、山陰でトップクラスの実績です。片麻痺などの症状がでてから4.5〜6時間以内の早期に来院できればこれらの治療の対象となることがありますので、ためらうことなく救急受診してください。当院には急性期病院としてはかなり充実したリハビリスタッフが発達しているほか、リハビリテーション科には神経内科専門医の資格を持った医師もいます。病棟には脳卒中リハビリテーション認定看護師も2名在籍し、脳卒中担当リハビリスタッフや医療相談員、栄養士などとチームとして最善の治療ができるようにしています。急性期以降はリハビリテーションを中心とした回復期に対応する病院と連携して家庭復帰・社会復帰を目指したプログラムを用意しています。

「神経の病気」と聞くと治らない病気というイメージがあるかもしれませんが、

病気の原因説明が進み、以前は難病とされていた病気にも治療法が開発されてきています。進行を止めることができない難病であっても、いかに進行をゆっくりにさせるか、患者本人や家族が穏やかな生活を送れるようにできるか、を考えお手伝いできるようにしています。退院後もかかりつけの開業医の先生方のほか、訪問看護師、ヘルパー、ケアマネージャー、保健師の方々にお世話になりながら地域で神経難病の方も安心して暮らせるように急性期病院として支援のお手伝いをさせていただいています。

「わからない病気」を少しでも「わかる病気」「なおる病気」に近づけることにお役に立てるようスタッフ一同がんばります。



外科

田原 成泰

皆さん初めまして。今年から松江赤十字病院へ赴任しました。大学は県外ですが、出雲市出身で、附属中に通学していました。これからは医療者として松江市に貢献していきます。

形成外科

大石 正雄

15年ぶりに故郷の松江に戻ってきました。これまでの経験を活かして診療にのぞみたいと思っております。

脳神経外科

大庭 秀雄

4月から松江に参りました大庭秀雄と申します。脳神経外科の診療では難しい言葉がたくさん出てきますが、なるべく分かりやすい説明を心がけます。

呼吸器外科

三和 健

4月から呼吸器外科部長として赴任しました三和です。患者さまに寄り添う医療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器外科

宮本 竜弥

4月より鳥取大学病院から松江赤十字病院へ赴任してきました。専門は呼吸器外科で、主に肺癌の手術を行っています。よろしくお願いいたします。

心臓血管外科

仁井 陸冬

まだまだ未熟ですが、少しでも地域医療に貢献できるように精進していきます。

泌尿器科

川本 文弥

1年ぶりの日赤勤務です。頻尿などトイレのことでお困りの方はお気軽にご相談ください。

放射線診断科

大内 泰文

患者さん一人一人に向き合い、寄り添った診療をしています。ご不明な点があれば、何でも聞いてください。

放射線治療科

田原 誉敏

自分や自分の家族が病気になるら担当してもらいたい医師になることを理想像と考えております。患者さんの不安や苦しみに寄り添い共に病気を闘っていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

麻酔科

宇賀田 圭

4月から麻酔科に赴任した宇賀田です。手術という人生の一大事を安心して快適に過ごしていただけるよう最善を尽くします。よろしくお願いいたします。

集中治療科

宮本 達人

皆様のお役に立てますよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

病理診断科

高橋 卓也

丁寧な病理診断を心がけています。自己の体調管理に気を付けて頑張ります。



Clinical Department
診療科紹介
脳神経外科

脳神経外科は、現在5名のスタッフで診察しております。脳神経外科専門医は4名で、そのうち3名は脳卒中専門医、2名は脳血管内治療専門医となっております。脳腫瘍・脳血管障害（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、脳血管奇形）・頭部外傷を中心に、ほとんどの疾患が24時間当院にて治療可能となっております。

脳腫瘍に対する治療では、術中出血量軽減のため脳血管内治療による血管塞栓術や、ニューロナビゲーションシステムを用いて、より安全に腫瘍摘出術を行っています。

脳血管奇形疾患では、昨年導入されたハイブリッド手術室で手術を行っており、術中に詳細な脳血管撮影を施行しながら血管奇形の摘出をしております。より安全で確実な手術

が可能となっております。

脳血管障害（脳卒中）には、脳梗塞（脳塞栓、脳血栓）、脳出血、くも膜下出血があります。急性期脳梗塞では、脳神経内科でt-PA静注療法を施行しています。さらには脳神経外科と脳神経内科で連携して脳血管内手術にも力を入れ、血栓除去療法や血管形成術を施行しています。

当院では24時間、t-PA静注療法や脳血管内手術に対応しております。

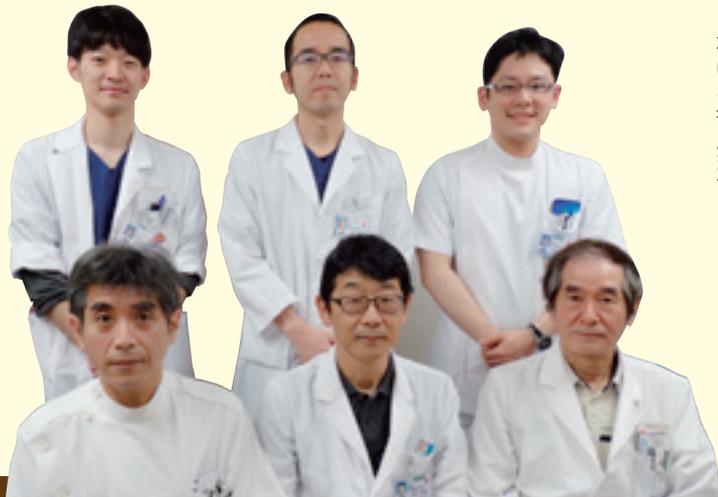
くも膜下出血は、多くは脳動脈瘤（脳の血管のこぶ）破裂によるものですが、治療は動脈瘤が再度破裂しないようにすることです。脳動脈瘤クリッピング術を施行しますが、当院の手術顕微鏡では術中蛍光血管撮影が可能であり、脳血管の血流を顕微鏡下で確認できるためより確実な手術が可能となっております。また、近年確立された脳血管内手術による脳動脈瘤塞栓術も行っており、患者さんの年齢や動脈瘤の場所・形状などを考慮し、より良い治療方法を提案させていただきます。

その他、あらゆる疾患に対し、患者さんには安心してリハビリを含めた治療を受けていただくことができます。

近年、画像診断機器の発展に伴い、未破裂脳動脈瘤や無症候性頸動脈狭窄症などが見つかることがあります。これらの疾患は現在特に症状がないものでも、今後のくも膜下出血や脳

梗塞の危険を減少するために、予防的な治療が有効になる場合があります。我々は、自然経過観察により予測される状況や、治療の有効性・危険性を十分に説明し、ご希望をお聞きした上で治療方針を相談させていただきます。セカンドオピニオンもご希望があれば、どんどん申し出てくだやう。

当科では十分に病床説明・治療の有用性・危険性などについてお話しし、患者さんそれぞれに合った治療方針を共に考えていきたいと思っております。わからないことがありましたら、どんなことでも質問いただければと考えます。



Hello Doctors
2~4月採用医師紹介



膠原病・腎臓内科
中西 宣太

腎臓を専門として日々診療を行っております。疑問なことなどありましたらお気軽にご相談ください。



消化器内科
板倉 由幸

国立国際医療研究センターおよび国立がん研究センター関連施設で4年間診療に従事し、松江に戻って参りました。消化管がんは何でもご相談ください。



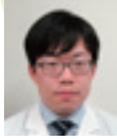
精神神経科
有馬 和志

精神科医としては、鳥取大学病院で1年間、精神科全般の診療を経験しました。こちらでの皆様との出会いも大切にして診療に当たります。



脳神経内科
徳田 直希

患者さん一人一人の生活を支える医療の提供を目指します。どうすれば安心して過ごせるか、一緒に考えていきましょう。



脳神経内科
吉田 健太郎

米子より赴任して参りました。地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願ひします。



循環器内科
辻本 大起

4月より松江赤十字病院で勤務させていただきます。全力で日々の診療に当たりたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。



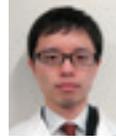
循環器内科
古原 聡

今年度より赴任いたしました古原です。患者さま一人一人に寄り添った医療ができるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。



小児科
堀江 昭好

生まれ育った松江で皆さんのお役に立てるように頑張ります。



小児科
秋好 瑞希

鳥根大学より参りました秋好瑞希です。松江圏域の小児科診療に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



外科
大江 崇史

外科の大江崇史と申します。皆様のお役に立てるように、誠心誠意頑張ります。よろしくお願ひ申し上げます。



天皇即位に伴うゴールデンウィークの診療日程



新天皇即位により4月27日から5月6日まで10連休となりますが、当院におきましては「4月30日(火)」と「5月2日(木)」の2日間開院いたします。

なお、開院中の初診料、再診料等につきましては、規定に従い休日加算の適用となりますのでご承知おきください。
松江赤十字病院 院長

5月							4月				
7日(火)	6日(月)	5日(日)	4日(土)	3日(金)	2日(木)	1日(水)	30日(火)	29日(月)	28日(日)	27日(土)	26日(金)
診療	休診 振替休日	休診 こどもの日	休診 みどりの日	休診 憲法記念日	【開院】 診療	休診 天皇の即位の日 日本赤十字社創立記念日	【開院】 診療	休診 昭和の日	休診	休診	診療

※休診中の救急患者は救急外来にて受付いたします。

2019年度 前期

外来糖尿病教室

※毎回予約制 ※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参ください。
申込・問い合わせ先…担当保健師 吉岡 TEL(0852)24-2111代

5月29日☆
10:00~13:00
場所/本館6階 講堂

糖尿病治療の基本 その1 ~コントロールの目標~

- * 検査結果をどう見る? …… 医師 佐藤 利昭
 - * 食事量とバランスを見直してみよう …… 管理栄養士 藤原 彩菜
 - * 糖尿病療養指導士からのメッセージ …… 臨床検査技師
- 【食事会】 乾物を使って野菜不足を解消しましょう!

7月10日☆
10:00~13:00
場所/本館6階 講堂

糖尿病治療の基本 その2 ~合併症を防ぐ①~

- * 糖尿病腎症のこと どこまで知っていますか? …… 医師 山本 公美
 - * あなたの食事の塩分量はどれくらい? …… 管理栄養士 長谷 教代
 - * 糖尿病療養指導士からのアドバイス …… 病棟看護師
- 【食事会】 え?! これで減塩食?

9月18日☆
10:00~13:00
場所/本館6階 講堂

糖尿病治療の基本 その3 ~運動療法の継続~

- * あなたに合った運動療法は? …… 医師 垣羽 寿昭
 - * 必見! 献立を立てるときのポイント …… 管理栄養士 乙社あかり
 - * 糖尿病療養指導士からのメッセージ …… 理学療法士
- 【食事会】 秋を楽しむサラダバイキング

健康医学講座



【講演時間】 14:00~15:00
【受付開始時間】 13:30~
【場所】 本館6階講堂 (受講は事前にお申込みください)
申込・問い合わせ先…
医療社会事業課 TEL(0852)24-2111代

6/24日

子宮頸がんのお話

第二産婦人科部長 藤脇 律人

7/31日

ハイブリッド手術室を利用した 心臓血管外科手術

心臓血管外科部長 齋藤 雄平

8/9日

歯を守ろう!

~実は怖い歯周病のはなし~

歯科口腔外科医師 吉田 優
歯科衛生士 仲 志保

9/9日

子どもの発達障害

第一小児科部長 長谷川有紀

■病院理念……わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院 『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力